

# 働く「重度」障害者が変える社会 ～共生社会は何を生み出すのか～

就労支援フォーラムNIPPONフクオカ

本フォーラム初めての福岡開催  
オンライン配信もあります

2020.11.18 [水]  
ホテルニューオータニ博多

# 働く「重度」障害者が変える社会

共生社会は何を生み出すのか

「重度障害」と「働く」をメインテーマに、「就労支援フォーラムNIPPON フクオカ」を開催します。障害の重い人たちの「働く」を掘り下げ、また、それを支えるさまざまな取り組みにふれながら、あらためて人が働くということの意味を見つめなおし、その意義を確認したうえで、重度障害者の就労をどのように支援すべきか、現場の実情をふまえて課題を共有し、来年度の報酬改定も見据えて、その評価をどう捉えるかの議論を通じて、障害者の就労を支えることの本質をあらためて考える機会としたいと思います。

## 就労支援フォーラム NIPPONフクオカ

本フォーラム初めての福岡開催。11/18(水)にホテルニューオータニ博多(福岡県福岡市)で行います。「会場参加」「オンライン参加」の2つの方法があります。プログラムや参加に関する詳細は後半のページでご案内しています。活動報告也大募集!



盲重複障害のある人が指先で位置を確認しながらシール貼りをしています

### 愛知県名古屋市 一人ひとりの可能性をあきらめない

障害のある人の「労働保障」(やりがいのある仕事)と「所得保障」をめざして活動する社会福祉法人さくらんぼの会。「生活介護さくらんぼ」では、重度の知的障害者が清掃や運搬、印刷、郵便のシール貼り、メール便配達などの仕事に取り組みます。また、強度行動障害の人が「働く」ために日々さまざまなチャレンジをしています。



近隣にある複数の法人拠点に資料などを届けます。まちのいつもの風景です



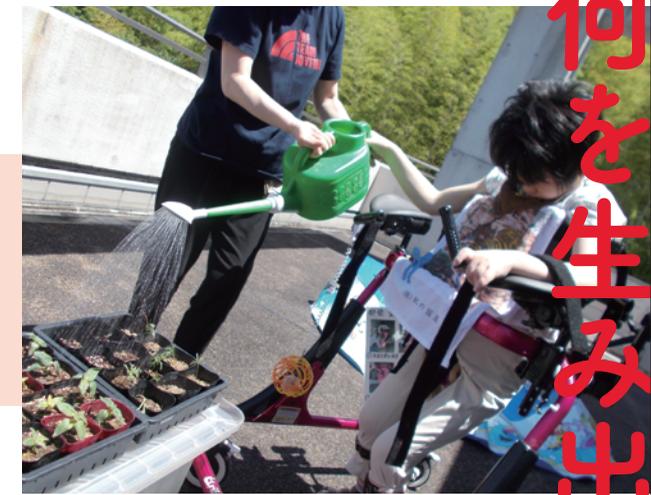
ミシンのスイッチ押しやアイロンがけでガーゼハンカチを製作

## たとえば、「生活介護」で「働く」現場から

「働く」ということをとても大切にされている生活介護事業所にお邪魔しました。

### 大阪府吹田市 権利を守り、発達を願って

福祉や医療の多職種が連携して、医療的ケアが必要な重度重複障害者の支援に取り組む「あいほうぶ吹田」(社会福祉法人さつき福祉会が吹田市から運営受託)。社会とのつながり、成人としての尊厳の獲得などQOL向上のための「生産活動」として、施設周辺の花壇業務、さをり織や藍染めの製品づくり、清掃などを行っています。



花壇の管理だけでなく、そこに植える花を種から育てる仕事もあります

### 福岡県福岡市 働くことは、生きること

NPO法人ばでいが運営する「ゆい」では、どんなに重い障害があっても「生き生きと過ごせる場」として、重度重複障害・重症心身障害者とされる人たちが協力しながら仕事をしています。古紙やアルミ缶の回収作業、オリジナルのガーゼハンカチの販売などを通じて地域のなかで多くの人とふれあいながら活動をつづけています。



回収したアルミ缶を専用プレス機を使って1缶ずつ潰します



最近Tシャツや巾着、トートバッグなどの藍染めに力を入れています



### 就労支援フォーラムNIPPON

障害のある人の「働きたい」を実現するために、工賃の低さや一般就労への移行をはじめとする諸課題の解決に向けて、事業所、企業、自治体、行政、医療、研究・教育機関など、障害者就労支援にかかわる関係者が全国から集い、学び、情報交換を行う、日本最大の障害者就労プラットフォームです。2014年から毎年12月に東京で開催し、延べ10,000人以上の参加者と活発に議論し、現場に、国に、具体的な改善を働きかけてきました。今年度は、地域の特色や実情をふまえ、障害者の就労支援における課題解決に向けた、実効性のある地域モデルの形成も視野に、12月の東京開催に加えて、11月に福岡(九州・沖縄エリア)で、来年2月に米子(中国・四国エリア)で開催します。過去のフォーラムのプログラムは公式サイトでご覧いただけます。

<https://hataraku-nippon.jp/archive/forum/>

# PROGRAM

11/18 (水) 9:30開場／9:50配信開始

10:00  
|  
10:15

## オープニング

主催挨拶 笹川陽平  
日本財団 会長  
来賓挨拶 ふじすえ健三  
参議院議員／障がい者所得倍増議員連盟 事務局長  
前 説 村上智則  
日本財団公益事業部国内事業開発チーム リーダー

10:15  
|  
10:30

## メッセージ

### 今、重度障害者の就労支援に期待されていること

野澤和弘  
植草学園大学 副学長／教授

10:30  
|  
10:55

## 基調講演（行政説明）

### 報酬改定と障害者の就労支援施策の再編

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 より

11:05  
|  
12:00

## パネルディスカッション

### 就労における「重度障害」を定義する

叶 義文  
九州社会就労センター協議会 会長

志賀正幸  
社会福祉法人つかさ会 理事長

金塚たかし  
大阪精神障害者就労支援ネットワーク 統括施設長

〔進行〕池田顕吾  
障害者相談支援ネットワークふくおか 代表

## 分科会

※4会場でも同時進行  
※会場参加の場合は定員があるため事前登録制

### 分科会①

#### 「重度障害」と働く ～現場の今とその意義を考える～

叶 義文  
九州社会就労センター協議会 会長

志賀正幸  
社会福祉法人つかさ会 理事長

金塚たかし  
大阪精神障害者就労支援ネットワーク 統括施設長

〔進行〕池田顕吾  
障害者相談支援ネットワークふくおか 代表

13:00  
|  
14:30

### 分科会②

#### 地域とのつながりで広がる障害者就労の可能性 ～感染症・災害の教訓をふまえて～

川俣聡司  
社会福祉法人愛光園 理事

賀村 研  
株式会社カムラック 代表取締役

多田伸志  
NPO法人岡山マインド「こころ」代表理事

〔進行〕上田浩司  
社会福祉法人さつき会 統括管理者

### 分科会③

#### 精神科病院・診療所から企業へのルートを上げよう！

嘉手川重一  
NPO法人ふれあいセンター サービス管理責任者

大城亀晶  
NPO法人ふれあいセンター 与儀市場通り地域自治会共同売店 共同店長

元正義則  
一般社団法人ワークネット北九州 代表理事

岩崎龍太郎  
ATUホールディングス株式会社 代表取締役

〔進行〕館 暁夫  
前 西南学院大学教員

### 分科会④

#### 障害者のQOL向上に向けた 新ライフモデルプランとは

清時忠吉  
社会福祉法人いずみ野福祉会シュレオーレ 管理者

清水 望  
社会福祉法人やおき福祉会 常務理事

石川 智  
FP事務所オフィス石川 代表

〔進行〕新藤健太  
群馬医療福祉大学社会福祉学部 助教

### シンポジウム

#### 次回障害福祉サービス等報酬改定における 重度障害者の就労支援評価のあり方

野澤和弘  
植草学園大学 副学長／教授

叶 義文  
九州社会就労センター協議会 会長

藤井克徳  
NPO法人日本障害者協議会 代表

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 より

〔進行〕竹村利道  
日本財団公益事業部国内事業開発チーム シニアオフィサー

### ポスターセッション

#### 就労支援現場からの活動事例の共有と情報交換の場

14:50  
|  
16:30

17:00  
|  
18:30

## 全体会

基調講演（行政説明） | 10:30 – 10:55

### 報酬改定と障害者の就労支援施策の再編

厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課より、来年度に予定されている障害福祉サービス等報酬改定について、これまでの同改定検討チームでの協議状況もふまえた見通しと、障害者の就労支援施策の再編に関して説明いただきます。

シンポジウム | 14:50 – 16:30

### 次回障害福祉サービス等報酬改定における 重度障害者の就労支援評価のあり方

本フォーラムのメインパートの最後となるシンポジウムでは、パネディス・分科会①での議論をふまえ、来年度の障害福祉サービス等報酬改定も見据えて、「重度」障害者の「働く」を支えるための充実した支援環境の構築に向けた、課題解決のための議論を行います。

分科会 13:00 – 14:30

### 分科会①

#### 「重度障害」と働く

～現場の今とその意義を考える～

パネディスでの議論をふまえて、「重度」障害者への「働く」に向けた支援の状況について、各事業所や企業等での活動事例を交えつつ、いま何が求められているのか、現状と課題を整理します。また、「重度」の障害を抱えながらも「働く」ことの意義を再確認するとともに、「重度」の障害があっても、「働く」ことが当たり前前に選択できる社会の実現が、どのようなバリューを世の中に生み出すのか議論します。

### 分科会③

#### 精神科病院・診療所から企業へのルートを上げよう！

平成30年に義務化された精神障害者・発達障害者等の雇用は、新規就職者が増加する傾向にあり、一見すると良化傾向で推移しているように思えますが、長期入院からの地域移行へと政策転換が行われたなかで、依然として就労に結びつかない状態で地域生活を続けている障害者は少なくはありません。入院中であれ外来通院であれ、支援の視点や働き方や職場環境の工夫次第で「働く」生活に移行できるのではないかと、企業就労を視野に地域生活における就労支援の在り方を検討します。

パネルディスカッション | 11:05 – 12:00

### 就労における「重度障害」を定義する

本フォーラムのメインパートとなる、パネディス・分科会①・シンポでは、「重度」障害者の「働く」に焦点を当てて、議論を進めていきます。最初はパネルディスカッション形式で、既存の制度を紐解きながら、三障害それぞれについて「重度」障害の定義を試みます。「重度」障害を考えると、人によってその認識や解釈はさまざまです。障害支援区分や各手帳の等級、障害者雇用促進法上の規定等の制度上の整理から、「重度」の様に触れつつ、「働く」ための支援をより必要とする「重度」をフォーカスします。

ポスターセッション | 17:00 – 18:30

### 就労支援現場からの活動事例の共有と 情報交換の場

就労支援フォーラムNIPPONの人気企画「ポスターセッション」を福岡でも開催します。詳細は本パンフの裏表紙をご覧ください。17：00-18：00の時間帯は、ポスターセッション報告者の一部（10団体を予定）がステージ上で発表する「プレゼンテーション」もあります。開催時間中は会場への出入りは自由です（参加にはフォーラムへの申し込みが必要）。ポスターセッションのオンライン配信はありませんが、ポスターを撮影した写真を同時帯にサイトでご覧いただけます。また、「プレゼンテーション」は配信します。

4会場でも同時進行します。会場参加の場合は定員がありますのでご注意ください。  
受講をご希望のプログラムを事前にご登録いただけます。（フォーラム参加申込時）

### 分科会②

#### 地域とのつながりで広がる障害者就労の可能性

～感染症・災害の教訓をふまえて～

障害者の仕事を新たに創造し、工賃向上に取り組みつつ、その活動により障害者の所得向上に留まらず、地域の課題解決や、地域を活性化させる波及効果を実現した、先進的事例を紹介します。そのうえで、障害者がこれからどのように地域で活躍の場を得ることができるかを議論するとともに、近年多発している自然災害やコロナウイルス感染症への対応について、実例事例を交えながら、そのときに生きるノウハウについて意見交換をします。

### 分科会④

#### 障害者のQOL向上に向けた新ライフモデルプランとは

近年、就労支援の成果指標の1つとして、月額平均工賃・賃金の多寡が目目されてきました。現在の障害福祉サービス費等の報酬算定構造では、就労継続支援B型サービス費の報酬算定に平均月額工賃の多寡に応じた傾斜が与えられ、日本財団でも2016年度以降、「はたらく障害者サポートプロジェクト」の一環として工賃向上のモデル拠点を全国で32拠点整備しました。このパートでは、障害者のQOLの向上と経済的な自立に向けて、工賃向上の必要性とその両輪となるサポートプログラムの構築について、各事業所からの活動事例を交えて検討します。

## 開催概要

# 就労支援フォーラムNIPPON フクオカ 働く「重度」障害者が変える社会 ～共生社会は何を生み出すのか～

日時 2020年11月18日[水] 10:00 - 16:35 (ポスターセッション: 17:00 - 18:30)

方法 ハイブリッド開催 (会場開催およびオンライン配信)

会場 ホテルニューオータニ博多 (福岡県福岡市中央区渡辺通1-1-2)  
※地下鉄「渡辺通」駅より徒歩1分。博多駅よりバスやタクシー利用で約10分

対象 全国の障害者就労支援事業者、企業、医療従事者、障害当事者・家族、行政、  
そのほか障害者就労支援にかかわる関係者・機関

参加者 1,400名想定 (「会場参加」400名、「オンライン参加」1,000名)

主催 日本財団

協働企画 九州社会就労センター協議会、全国障害者雇用事業所協会、九州地区知的障害者福祉協会、福岡県知的障がい者福祉協会、  
全国身体障害者施設協議会、全国精神保健職親会、日本作業療法士協会、福岡県作業療法協会、  
全国就労移行支援事業所連絡協議会、日本相談支援専門員協会、福岡県障害者就業・生活支援センター連絡会

後援 厚生労働省、福岡県、福岡市等 (※予定)

## 2020年度「就労支援フォーラムNIPPON」開催スケジュール

毎年12月の「全国版(東京開催)」フォーラムと連関しながら、「地方開催」フォーラムを展開します。障害者就労の視点、論点をリードし、  
企業や福祉ほか関係機関のハブとなり、政治、行政への影響力を高め、具体的かつ効果の高いイノベーションの実現に向かいます。

■【開催終了】2020年8月24日[月] - 26日[水] ※オンライン開催  
就労支援フォーラムNIPPON オンライン ～緊急 10,000人ミーティング～「ひるむな、私たち。NIPPON 進化論」

■ 2020年11月18日[水] ※会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催  
就労支援フォーラムNIPPON フクオカ (ホテルニューオータニ博多)  
「働く『重度』障害者が変える社会～共生社会は何を生み出すのか?～」

■ 2020年12月12日[土] - 13日[日] ※会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催  
就労支援フォーラムNIPPON 2020 in 東京 (ベルサール新宿グランド)  
7回目となる全国版フォーラムのテーマは「The Answer」。答えを出します

■ 2021年2月21日[日] ※会場での開催  
就労支援フォーラムNIPPON ヨナゴ (米子コンベンションセンター)  
工賃向上や事業改善、報酬改定など「経営～Business～」をテーマに行います

## お申し込み

参加費 (税込) 「会場参加」———— 弁当付き4,300円、弁当なし3,000円  
「オンライン参加」—— 1,500円

申込方法 「会場参加」「オンライン参加」ともに、インターネットでのお申し込みのみとなります。  
チケット販売サイト「Peatix」よりお申し込みください

<https://shuroushien-fukuoka.peatix.com/>

※フォーラム公式サイト (hataraku-nippon.jp/forum-fukuoka) にリンクがあります  
※お申し込みにはメールアドレスが必要です (「Peatix」でアカウントを作成していただきます)



申込期間 「会場参加」———— 2020年9月18日[金] - 2020年11月6日[金] 23:55  
※定員に達した時点で締め切りとなります

「オンライン参加」—— 2020年9月18日[金] - 2020年11月18日[水] 17:00

## 主な注意事項

※詳細はフォーラム公式サイト(上記)の「よくある質問(FAQ)」をご覧ください

### 「会場参加」の方へ

- 会場内へ外部からの食事持ち込みが禁止となっておりますので、お弁当なしの会場参加券をご購入された方は近隣の飲食店等で食事をお済ませください
- マスク着用でのご来場をお願いします
- 来場前に体調をご確認いただき、37.5℃以上の熱がある方は来場をお控えください
- 37.5℃以上の熱がある方は入場をお断りさせていただく場合がございますのでご了承ください

### 「オンライン参加」の方へ

- チケット販売サイト「Peatix」にて入金確認後、視聴ページのURLをご案内します
- 視聴用のパソコン (またはスマートフォンやタブレット) とネット環境をご用意ください
- インターネットが利用できれば、アプリやソフトのインストールは不要です
- 動画配信となり通信量を多く消費するため、Wi-Fi環境を推奨します
- 「ポスターセッション」のオンライン配信はありませんが、ポスターを撮影した写真を同時間帯にフォーラム公式サイトでご覧いただけます。また、「プレゼンテーション」はオンライン配信します

## お問い合わせ先

### 就労支援フォーラムNIPPON フクオカ 運営事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-3-5 NBF渋谷イースト (株式会社フロンティアインターナショナル内)

TEL 03-4570-0914 (10:00-12:00 / 13:00-16:00 ※土日祝を除く)

【一般参加用】———— shuroushien.fukuoka@frontier-i.co.jp

【ポスターセッション用】—— shuroushien.session@frontier-i.co.jp

「ポスターセッション」で発表しよう！ 17:00-18:30

# 活動報告 大募集

就労支援の現場でがんばっている方々の活動を「ポスターセッション」のスタイルで報告・共有できる交流会として、福岡でも開催します。就労支援事業所などでの日々の取り組みを、文章や写真による「活動報告」としてホワイトボードに貼り出し、それを見て回る参加者と、自身のホワイトボード前で待つ発表者とは、気軽に、自由に、質問や情報交換をすることができます。見るだけでも楽しいポスターセッションですが、発表する側になればよりいっそう貴重な機会に。ぜひご応募ください。

過去に行われたポスターセッションの様子。今回は、新型コロナウイルス対策を万全に行います。



応募について —— A4ペラ1枚の「抄録」をメールで送るだけ

## 【応募方法】

- 事業所の紹介や活動内容を要約した「抄録」を作成して、ご応募いただきます  
(「抄録」は当日の資料集に掲載して、フォーラム参加者全員に配布します)
- 「抄録様式」(Wordファイル/A4 サイズ1ページ)を公式サイト【[hataraku-nippon.jp/forum-fukuoka/](http://hataraku-nippon.jp/forum-fukuoka/)】でダウンロードして、必要事項を記入のうえ、募集要項に記載されている指定のWebサイト(ポスターセッション申し込みフォーム)でご登録ください
- 報告テーマを以下よりいずれか1つお選びください
  - ① 重度障害者に対する就労支援の実践事例
  - ② 新型コロナウイルスに対する状況改善のための実践事例
  - ③ 医療機関と連携した就労支援の実践事例
  - ④ 工賃向上に向けた実践事例
  - ⑤ 障害者のQOL向上に向けた実践事例
  - ⑥ その他、就労支援に係る先駆的な実践事例
- 募集の詳細を記した募集要項を公式サイトでご確認ください



## 【応募期間】

2020年9月18日[金] - 10月30日[金]

発表について —— 気軽に自由なポスターセッション形式です

## 【発表までの流れ】

- 募集締め切り後、日本財団(就労支援フォーラムNIPPONフクオカ協働企画会議)で選考させていただきます
- 11月初旬までに選考結果を通知のうえ、発表要項を送付します
- 当日11/18[水]は9:00-9:30にポスターを貼り出し、17:00-18:30のポスターセッションにご参加ください

## 【発表方法】

- ポスターセッション形式です。1題につきホワイトボード(横180cm×縦90cm)を準備します
- 掲示するポスターの様式は自由です。採用された方には詳細をお知らせします
- 発表される方も「就労支援フォーラムNIPPONフクオカ」への参加申込が必要です。ご注意ください

ポスターセッション報告者の一部(10団体を予定)の方には、ステージ上で発表する「プレゼンテーション」も行っております。方法や事前の準備については、運営事務局がサポートいたします。